



令和7年8月8日
国土交通省 中部地方整備局
岐阜国道事務所
北勢国道事務所
中日本高速道路株式会社
名古屋支社

山県IC～本巣IC※1 および いなべIC～大安IC※2
の開通3ヶ月後の交通状況と開通効果をお知らせします。

※1:R7.4.6(日)開通 ※2:R7.3.29(土)開通

- ・ 山県IC～本巣IC付近（国道157号）間の移動の約9割が東海環状自動車道利用に

開通効果・企業立地の活発化や時間短縮効果(約20分)により企業の生産性が向上

- ・ 岐阜大学医学部附属病院への搬送時間が約 9 分短縮

交通状況・大安ICの出入交通量の約3割がいなべICへ転換

- ・ 並行する国道306号の交通量が約1割減少（大型車は約3割減少）

開通効果・名古屋方面への所要時間が約15分短縮するなど沿線地域の利便性が向上し、地域の魅力向上や移住者の増加を支援

- 沿線観光施設のイベント開催時に遠方からの来訪者が増加

中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、岐阜市政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ

●交通状況および期待される効果に関すること

＜山県IC～本巣IC＞ 国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所
副所長 佐溝 健治 計画課長 豊田 剛司 電話 058-271-9815

＜いなべIC～大安IC＞ 国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所
副所長 田中 勝 計画課長 小里 大輔 電話 059-363-5511

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 広報・CS課 電話 052-222-1183



令和7年夏頃までに開通する各道路事業の整備効果や開通に向けての進捗状況など積極的にPR

World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETWORK



開通区間概要(山県IC～本巣IC間)

別紙1

- 東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重3県の各都市を環状に連結し、東名高速道路・名神高速道路・新東名高速道路・新名神高速道路など一体となって、広域的なネットワークを形成する延長約153kmの高規格道路です。

今回の開通(11.9km)により、開通延長が127.8※km(約8割)となりました。

※いなべIC～大安ICの開通(6.5km)を含む

- 今回開通したIC・PAの所在地

所在地	ぎふ ぎふ ぎふ だいがくきた 岐阜IC(岐阜県岐阜市大学北)
	もとす ぎふ もとす かみのほ 本巣IC(岐阜県本巣市上保)

※岐阜IC及び本巣ICはETC専用料金所です。

- 今回開通区間の概要

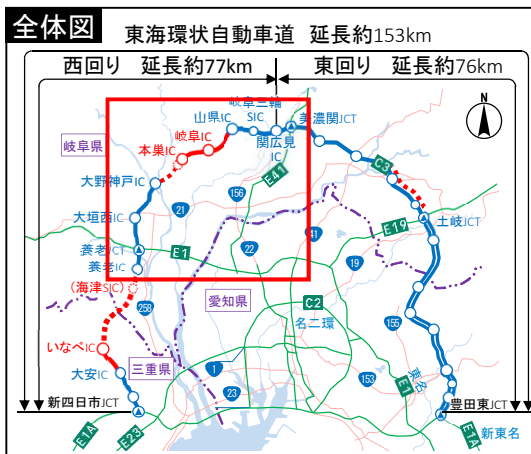
路線名	一般国道475号 とうかいかんじょう 東海環状自動車道
開通区間	やまがた ぎふ やまがた にしふかせ もとす ぎふ もとす かみのほ 山県IC(岐阜県山県市西深瀬)～本巣IC(岐阜県本巣市上保)
延長/車線数	11.9km / 暫定2車線

今回開通区間の位置図・状況

詳細図



全体図



凡例

- 東海環状自動車道(事業中)
- 東海環状自動車道(開通済)
- 東海環状自動車道(今回開通区間)
- その他の高速道路
- 主な国道

()書きのIC名称は仮称



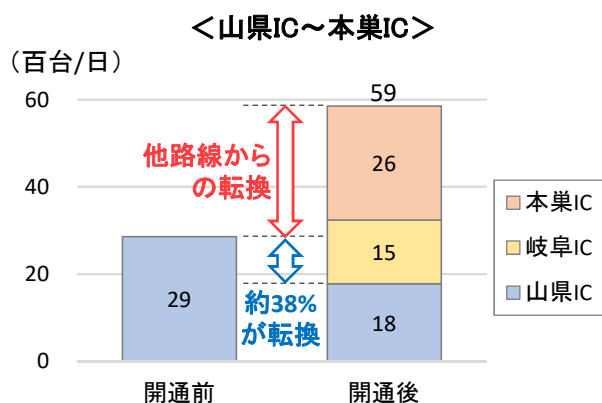
令和7年4月6日
開通セレモニー・パレードの様子

- 山県ICの出入交通量の約4割が岐阜IC・本巣ICへ転換。
- 山県IC～本巣IC付近(国道157号)間の移動の約9割が東海環状道利用に。
- 国道256号(西深瀬)の交通量が約4割減少、県道78号(文殊西)では微減。

■山県IC～本巣IC間の利用経路の転換例

山県IC⇒岐阜IC・本巣ICへ
並行一般道⇒東海環状自動車道へ
交通の一部が転換

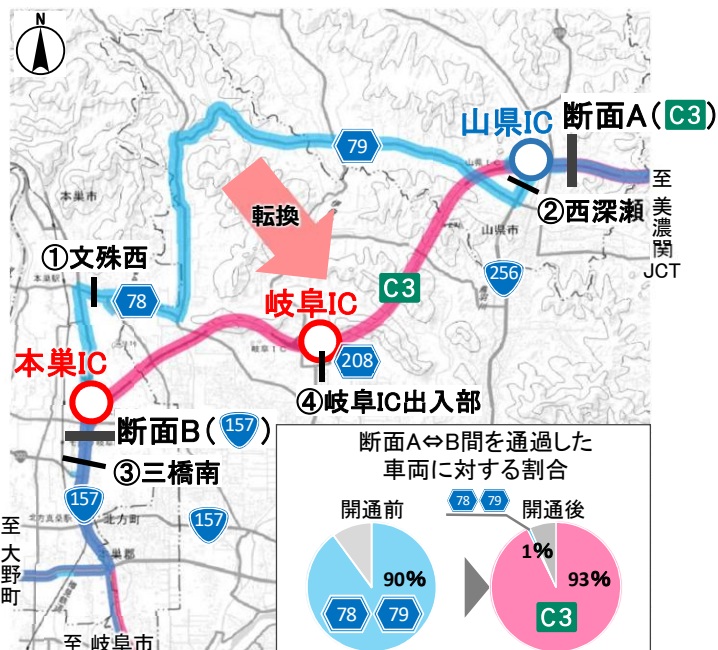
■IC出入交通量の転換



出典: NEXCO中日本提供データ

開通前 令和6年4月9日(火)～令和6年6月1日(土)

開通後 令和7年4月8日(火)～令和7年5月31日(土)



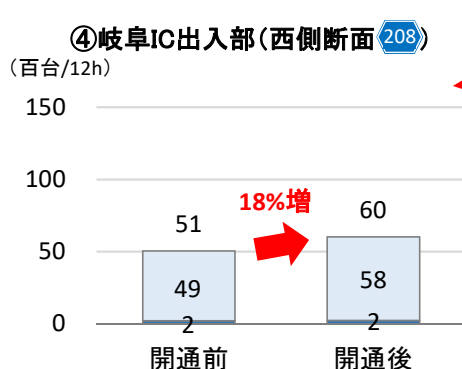
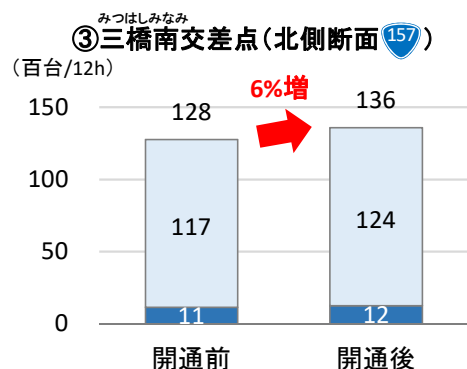
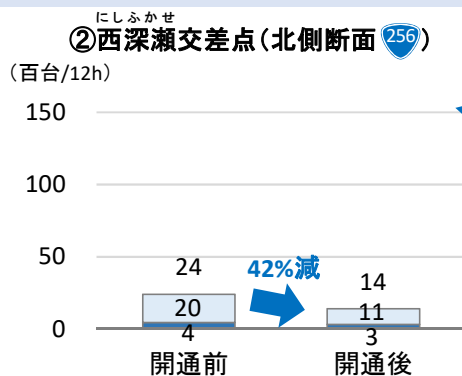
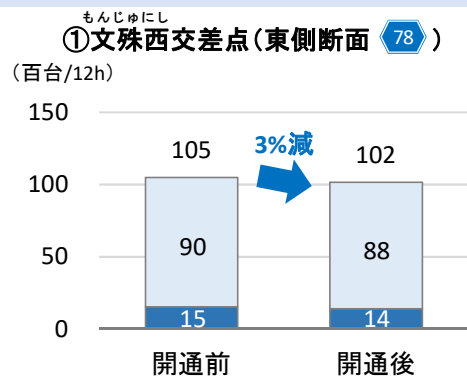
出典: ETC2.0プローブ情報: 1回の移動で断面A,Bの両断面を通過した車両数を経路ごとに集計し、サンプル数5%以上の経路を図化

開通前: 令和6年4月22日(月)～5月21日(火)

開通後: 令和7年4月21日(月)～5月20日(火)

背景地図は地理院タイルを使用

山県IC～本巣IC周辺一般道の交通量変化



①山県IC～本巣IC
並行一般道で微減
②山県IC出入部で減少

③④本巣IC、岐阜IC
周辺一般道で増加

出典: 国土交通省 交通量調査結果

開通前: 令和7年3月6日(木)

開通後: 令和7年5月13日(火)

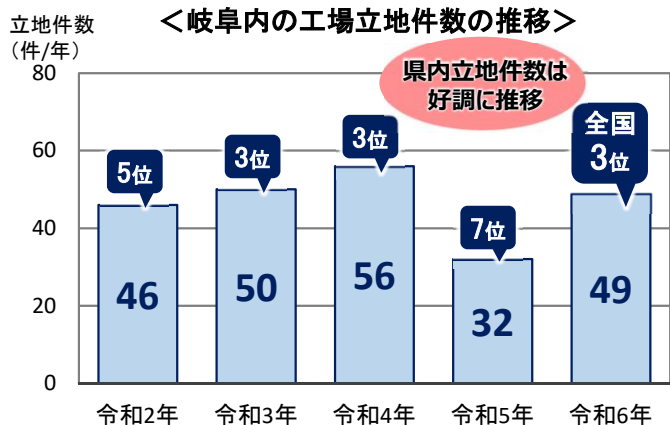
- 本巣IC開通により、岐阜県北部・愛知・静岡方面への**広域アクセスが充実**。
- 沿線では工場等の新設や増設が活発化するとともに、本巣IC利用による**時間短縮効果(約20分)**により、**コスト軽減**や運転時の**疲労軽減**に寄与。

高速道路ICがより身近になり企業活動を支援

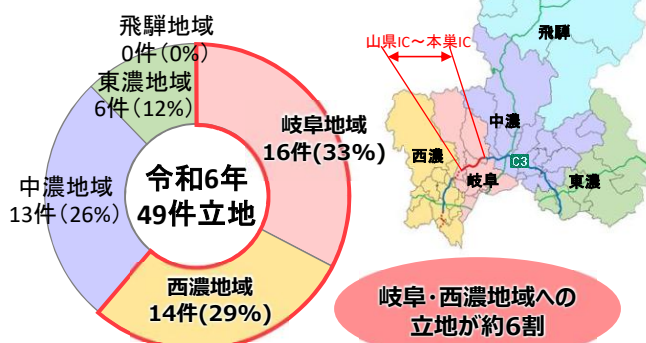
■岐阜県北部や愛知、静岡方面へのアクセス性向上



■岐阜県内の好調な工場立地動向



＜岐阜県内 地域別の立地件数＞



出典：岐阜県 2024年(1～12月)工場立地動向調査結果

《本巣市内の製造業A社の声》

- ・開通前は山県ICを利用していましたが、本巣ICが開通したことにより、週2回の高山方面への往復移動、毎日の豊田方面への移動で、**時間短縮**が図れています。
- ・通行料金は多少増えますが、**時間外作業費用が抑えられ、トータルでのメリットは大きい**と考えています。
- ・また、下道を走る距離が短くなり、**運転時の疲労が軽減**されていると感じます。

《大野町内の運送業B社の声》

- ・愛知県瀬戸市や静岡県方面への輸送で豊田東JCTまで東海環状自動車道を利用しています。本巣ICを利用することで、**移動時間が短縮し、アクセスが良くなりました**。
- ・開通前の経路では、対向車とのすれ違い時に平積みの商品が傷つかないように、一時停止など慎重な運転が必要でしたが、開通により解消され**安全性が向上**しました。

出典：国土交通省ヒアリング調査(令和7年5・6月)



- 岐阜ICの利用により、岐阜大学医学部附属病院への搬送時間が約9分短縮され、より迅速な救急搬送が可能に。
- 安定した揺れの少ない搬送により、患者にかかる負担の軽減に寄与。

高度救命救急センターへのアクセス性が向上

■山県IC～岐阜ICを利用した救急搬送実績



<ICからのアクセス向上>



凡例

- 搬送開始地域
- 消防署
- 岐阜大学医学部附属病院
- 救急搬送ルート

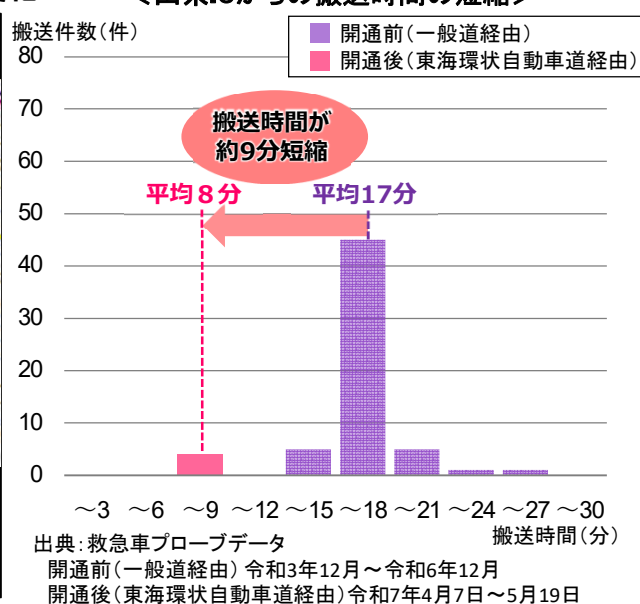
出典：救急車プローブデータ(令和7年4月7日～5月19日)

※岐阜大学医学部附属病院にアクセスしたトリップを集計

■山県IC→岐阜大学医学部附属病院の所要時間の変化



<山県ICからの搬送時間の短縮>



《岐阜市消防本部、岐阜北消防署 三輪分署の声》

- ・搬送時間に遅れが生じることが想定される場合や、現場がIC周辺の場合、緊急度が高く早期に搬送が必要と考えられる場合、安静に搬送したい場合に、東海環状自動車道を利用しています。
- ・安定した走行ができ、車両の揺れが抑えられるため、患者にかかる負担が軽減できます。



出典：国土交通省ヒアリング調査(令和7年6月)

開通区間概要(いなべIC～大安IC間)

別紙5

- とうかいかんじょう自動車道東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重3県の各都市を環状に連結し、東名高速道路・名神高速道路・新東名高速道路・新名神高速道路など一体となって、広域的なネットワークを形成する延長約153kmの高規格道路です。

今回の開通(6.5km)により、開通延長が127.8※km(約8割)となりました。

※山県IC～本巣ICの開通(11.9km)を含む

- 今回開通したIC・PAの所在地

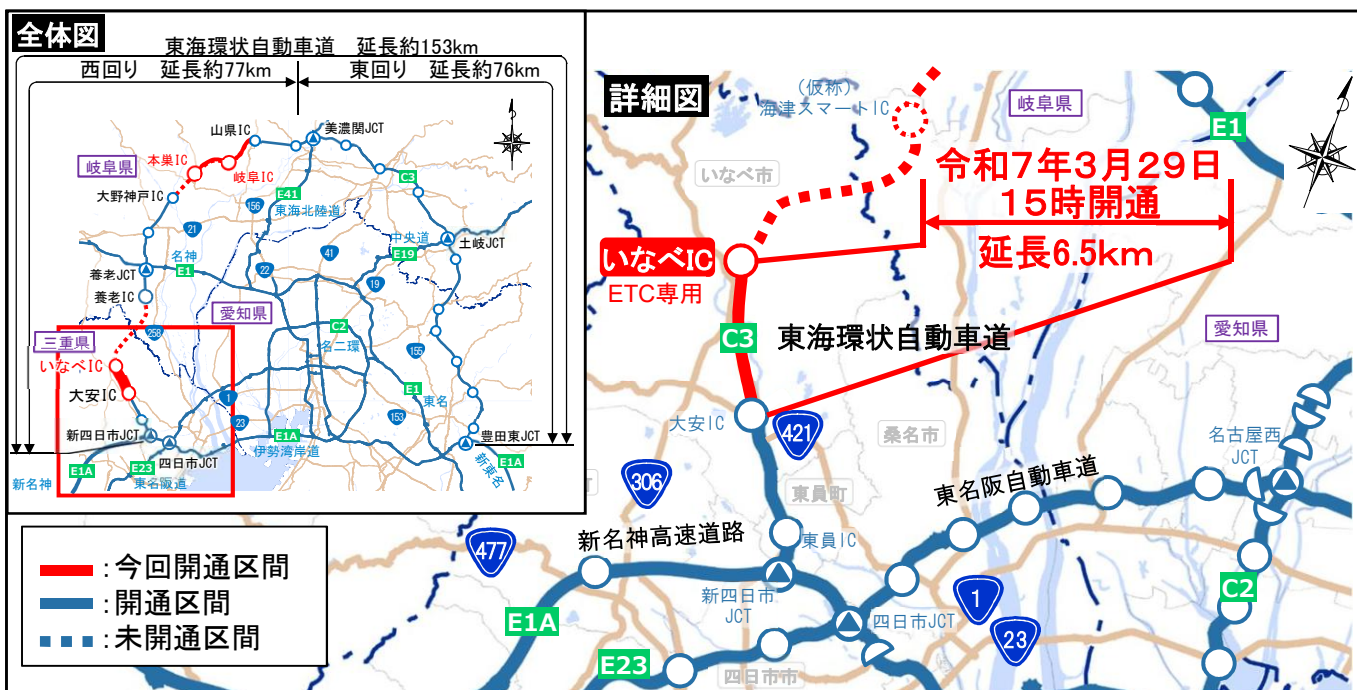
所在地	いなべIC(三重県いなべ市北勢町阿下喜)
-----	----------------------

※いなべIC及び大安ICはETC専用料金所です。

- 今回開通区間の概要

路線名	一般国道475号 とうかいかんじょう 東海環状自動車道
開通区間	いなべIC(三重県いなべ市北勢町阿下喜)～大安IC(三重県いなべ市大安町高柳)
延長/車線数	6.5km / 暫定2車線

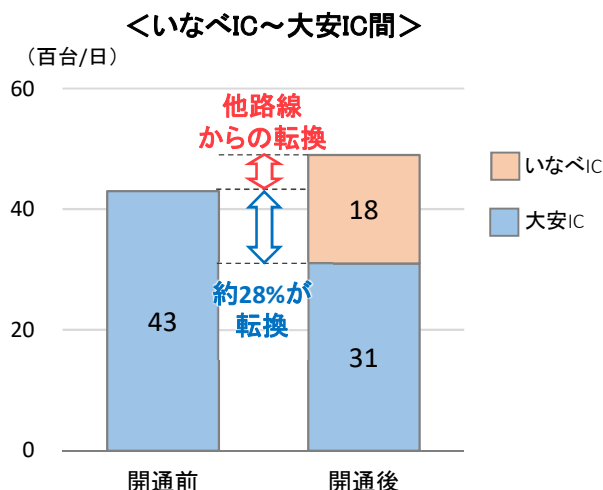
■今回開通区間の位置図・状況



令和7年3月29日
開通セレモニー・パレードの様子

- 大安ICの出入交通量の約3割がいなべICへ転換。
- いなべIC～大安IC付近(国道306号)間の移動の約7割が東海環状道利用に。
- 国道306号の交通量が約1割減少。大型車は約3割減少し、東海環状に転換。

■ IC出入交通量の転換



出典: NEXCO中日本提供データ

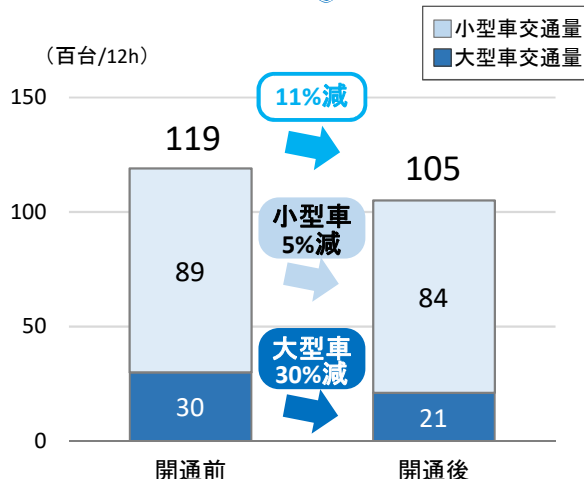
開通前 令和6年3月31日(日)～令和6年6月1日(土)

開通後 令和7年3月30日(日)～令和7年4月5日(土)、
令和7年4月8日(火)～令和7年5月31日(土)

大安IC⇒いなべICへ
並行一般道⇒東海環状自動車道へ
交通の一部が転換

いなべIC～大安ICに並行する
一般道の交通量変化

国道306号 断面



出典: 国土交通省 交通量調査結果

別名交差点北側単路地点の昼間12時間日断面交通量

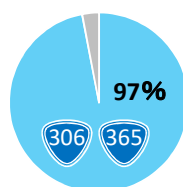
開通前: 令和6年11月19日(火)、開通後: 令和7年5月29日(木)

■ いなべIC～大安IC間の利用経路の転換例

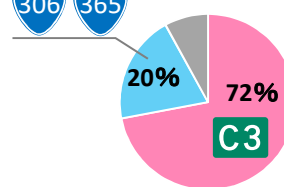


断面A⇔B間を通過した車両に対する割合

開通前



開通後



出典: ETC2.0プローブ情報: 1回の移動で断面A,Bの両断面を通過した車両数を経路ごとに集計し、サンプル数5%以上の経路を図化

開通前: 令和6年4月8日(月)～5月5日(日)、

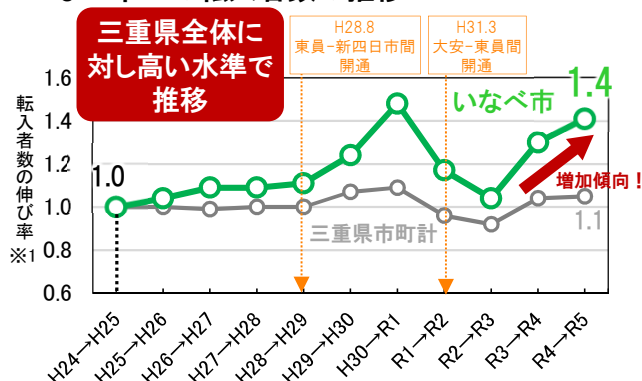
開通後: 令和7年4月7日(月)～5月4日(日)

- いなべ市では**転入者数**が**県内全体**に対して**高い水準**で推移。
- 名古屋方面への出店の際に**所要時間**が**約15分短縮**するなど**利便性の向上**を実感。また、出店活動が更なる移住者の増加を生み、**地域の魅力が向上**。

移住者が利便性向上を実感、道路が人を繋ぎ移住者の増加・魅力向上に寄与



■ いなべ市への転入者数の推移



出典 三重県の統計情報みえDataBox
※1 H24→H25を基準として伸び率を算出

■ 開通前後の所要時間

(いなべ市役所→名古屋駅)



出典 開通前：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果 朝夕旅行速度結果
開通後：ETC2.0プローブ情報(R7.5)朝混雑時旅行速度 より
いなべ市役所→新四日市JCTの短縮時間を算出

《移住者Aさんの声》

名古屋のマルシェへの出店を頻繁に行っています。1つでも多くの菓子を多くのお客様に届けるため、製造時間の確保が重要であり、いなべIC開通による移動時間の短縮・定時性の確保に大変助かっています。また、マルシェで知り合った知人がいなべ市に興味を持ち、近々移住を予定しており、地域の魅力向上を実感しています。

約8年前移住
菓子屋を
オープン



《移住者Bさんの声》

市内で採れる果樹を使ったシロップを販売し、地域の魅力をPRしています。多い月で、月の半分程度は名古屋をはじめ、豊田市や蒲郡市等、約1時間半圏内で出店することが多く、東海環状自動車道を必ず利用しています。東海環状自動車道をはじめ、高速道路がなければ負担が大きく、この活動は難しかったと感じます。

約8年前移住
移動販売車で
県内外に出店



《いなべ市農林商工部商工観光課の声》

名古屋へアクセスしやすい利便性の高さといなべ市の自然・里山・農産品等の資源に魅力を感じ、移住して飲食店を開業する地としていなべ市を選んだという声を聞きます。移住者は東海地方のイベントに出店する方も多く、出店による知名度の上昇・移住者同士のつながりが更なる移住者の増加・飲食店開業の増加を加速させていると考えています。



出典：国土交通省ヒアリング調査(令和7年6月)

- いなべIC開通後、「にぎわいの森」におけるイベント開催時には**遠方からの来訪**がみられ、**出店者は来訪客の増加を実感**。
- 市の中心に位置するいなべIC開通を契機に**更なる来訪者の増加に期待**。

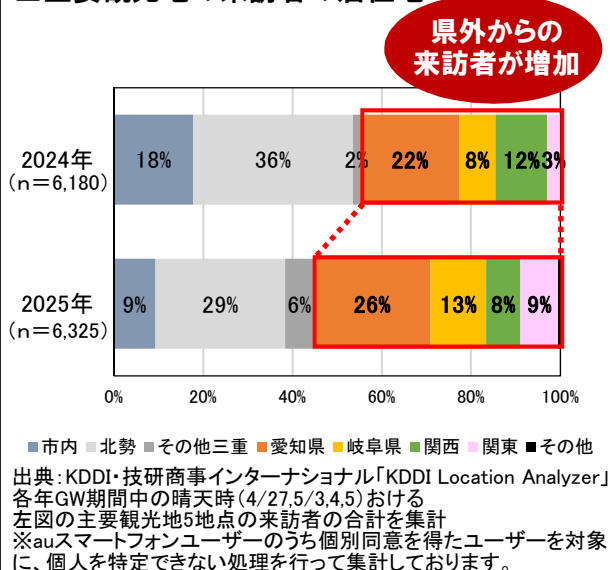
高速道路ICを拠点とする更なる観光活性化に期待

■いなべ市内の主要な観光施設



写真：いなべ市商工観光課 提供
 (いなべ梅林公園、にぎわいの森)

■主要観光地の来訪者の居住地



《(一社) グリーンクリエイティブいなべの声》

にぎわいの森にて4月にマルシェやアウトドアのイベントを開催した際は、**全国各地から約9,000人(4日間イベント延べ)**の来場があり大盛況でした。出店者からも「**アクセスが便利になった**」と聞いています。さらに「にぎわいの森」の複数店舗から、「**開通後は例年と比較してGW期間中及びその後の客入りが良かった**」との声が寄せられています。



《いなべ市農林商工部商工観光課の声》

東海環状自動車道開通前から市内の観光施設整備を進め、受け入れ準備を整えてきました。いなべIC開通後は**メディア取材も増加**しており、**注目度の高まりを実感**しています。「いなべ梅林公園」再整備後や梅開花時期には**全国から更なる来訪者の増加を期待**しています。さらに、「にぎわいの森」の拠点機能といなべIC・大安ICの2つのICを活かし、市内施設の周遊性向上を図り、来訪者の増加や滞在時間の増加を今後検討していく予定です。

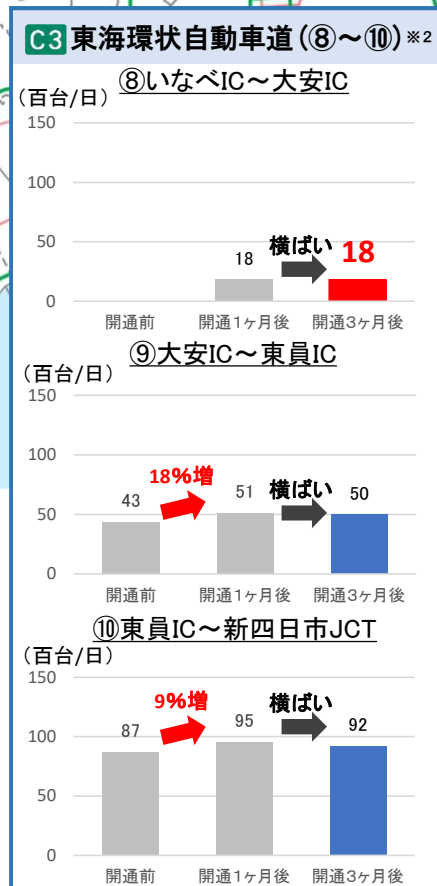
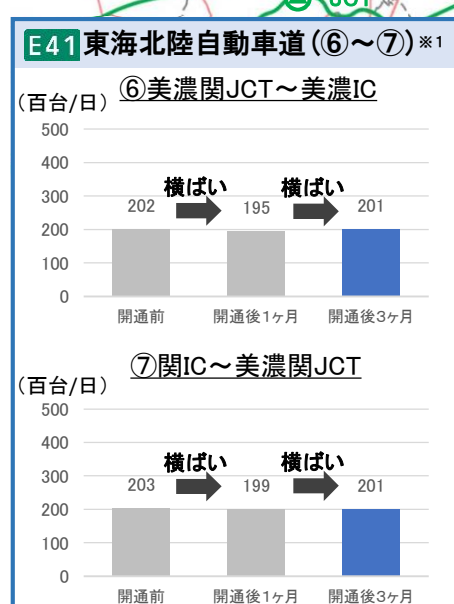
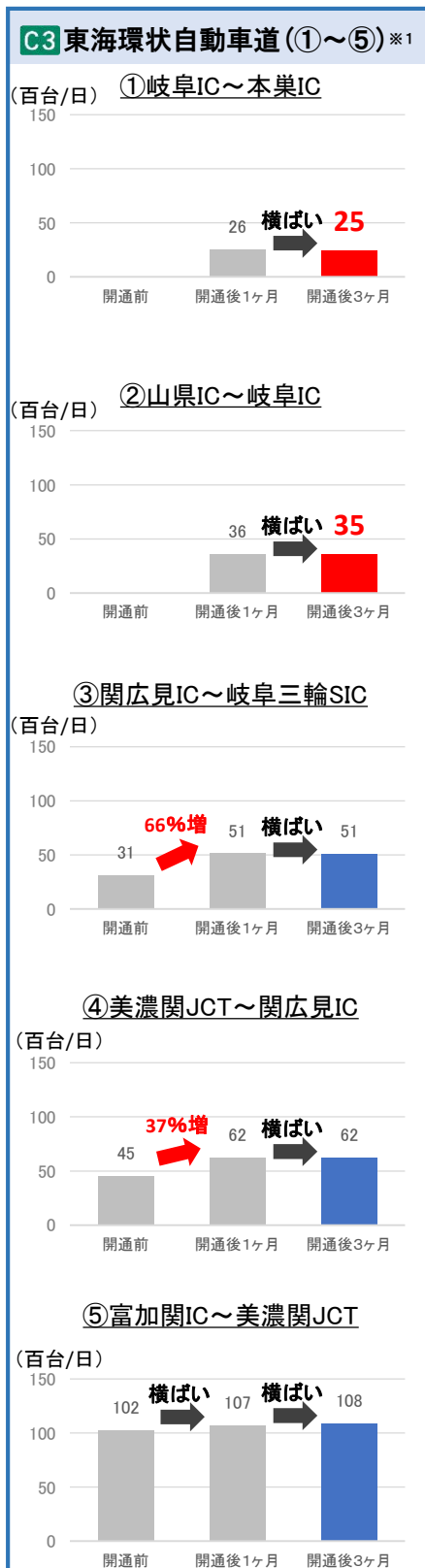
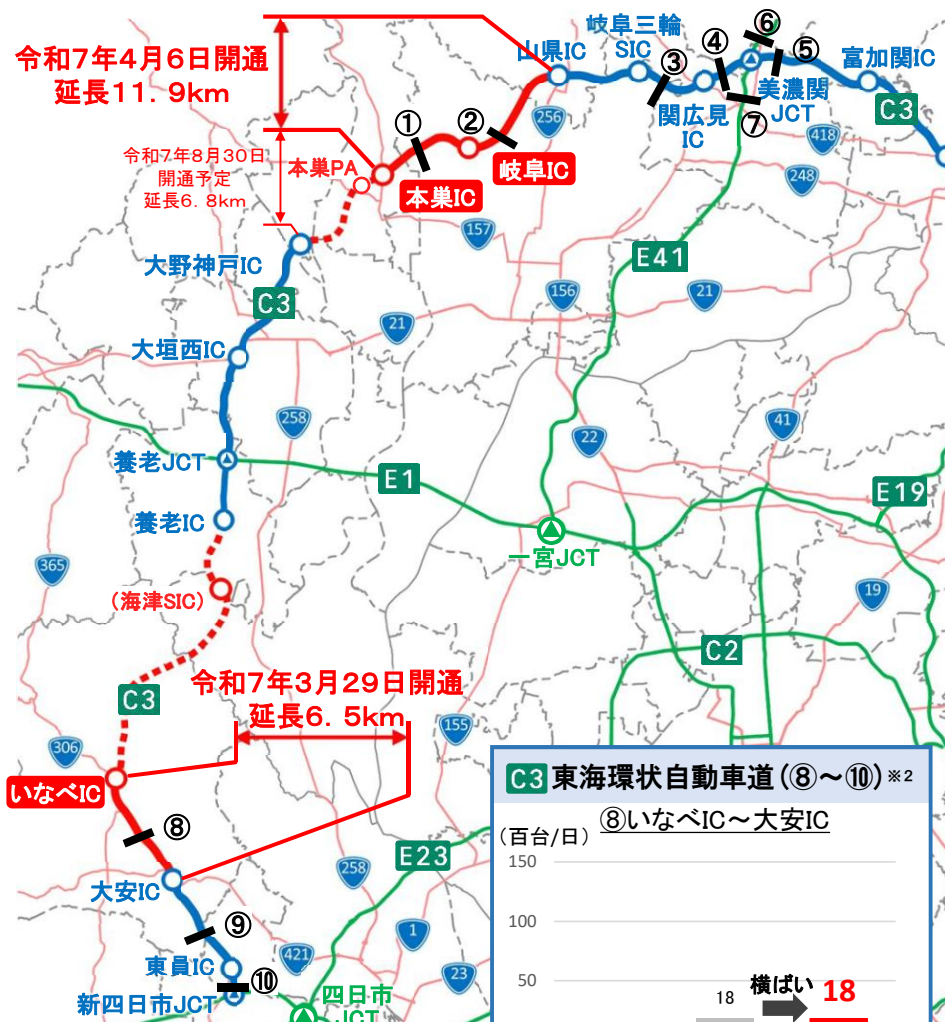


出典：国土交通省ヒアリング調査(令和7年6月)

開通後の交通状況(高速道路)

別紙9

- 岐阜県区間の山県IC～本巣ICの利用交通量は、山県IC～岐阜ICで**平均3,500台/日**、岐阜IC～本巣ICで**平均2,500台/日**。
- 三重県区間のいなべIC～大安ICは、**平均1,800台/日**。
- 岐阜県区間は山県IC以东、三重県区間は大安IC以南の**交通量が増加**。



出典: NEXCO中日本提供データ

※1開通前: 令和6年4月9日(火)～令和6年4月25日(木)、開通1ヶ月後: 令和7年4月8日(火)～令和7年4月24日(木)の日交通量の平均値、
開通3ヶ月後: 令和7年6月1日(日)～令和7年6月30日(月)の日交通量の平均値

※2 開通前: 令和6年3月31日(日)～令和6年4月25日(木)、開通1ヶ月後: 令和7年3月30日(日)～令和7年4月5日(土)、令和7年4月8日(火)～令和7年4月24日(木)の日交通量の平均値、
開通3ヶ月後: 令和7年6月1日(日)～令和7年6月30日(月)の日交通量の平均値

今後も広がるネットワーク

参考
資料

- 東海環状自動車道では、今回の開通に引き続き、残る区間においても1日も早い開通を目指して事業を進めております。
- 更なる高速道路ネットワークの拡充により、中京圏のものづくり産業を支援します。

東海環状自動車道 延長約153km



■東海環状自動車道西回り)工事進捗状況



路線図、工事状況写真ともに、()書きのIC名称は仮称